

PTA 総会 校長挨拶

PTA 総会でこのようなお話をさせていただきました。



学校でしか経験できないことと家庭でしかできないことがあります。学校でしか経験できないことは集団生活です。集団の力は良きにつけ悪きにつけ大きいものがあります。この集団の力をいかに良い方向に利用して生徒の力を育てていくかが我々に与えられた使命です。

家庭にしかできないことは家族からの愛情が注がれ、やすらぎや安心が与えられることです。そして十分な栄養と睡眠により心身ともにリフレッシュしてまた元気に学校へ行き、勉強や運動に頑張ろうとする態度を育てることです。

ご家庭で一番大切にしてほしいことは子どもとの会話です。会話のある家庭は子どもも精神的に安定しているように感じます。

どのご家庭でも子どもとの会話は大事だと思っています。ただ、会話をしようと思ってもなかなか話してくれない。と言われる方も多いでしょう。確かに中学生になると自我が芽生え、反抗期となりなかなか話しません。無理やり話せと言ってもそれは逆効果です。

ここは考え方を変わってください。会話は 5 対 5 の割合で話したり聞いたりするというイメージを捨て 8 対 2 もしくは 9 対 1 の割合で聞き役に徹してください。「話し上手は聞き上手」という言葉があります。これは我々大人も同じで話しやすい相手というのは話を聞いてくれる相手ではないでしょうか。

ではどうしたら子どもは話すようになるのでしょうか。それはまず第一にタイミングを逸しないということです。

家事の途中に「お母さん」と話しかけてきました。「ちょっと待ってこれが終わった後にして」と言って家事を片付けてから「さあ話して」と言ってもタイミングを逸していますから「もういいや」とか「私より洗濯や炊事の方が大事なのか」というふうにとらえることも考えられます。まず少し手を止めて聞いてやってください。そして即答できる内容ではないと判断したら「これを終わらしてしましちょっと待ってね」と言えば子どもは納得します。「忙しいので後で！」とピシャッと言い切ると話さなくなるかもしれません。

次に、答えをすぐに出さないことです。例えば、部活動でなかなか選手として使ってもらえない。部活をやめたいという悩みを打ち明けたとします。そこで「わかった。お母さんが先生に言うてあげる。」と言ったとします。多分多くの子どもは、そんなことを望んでいないでしょう。逆にやめてほしいという感情を持つのではないのでしょうか。

また、「あなたの努力がたりないからしょうがない。がんばるしかない。」と言えば会話が止まり話さなくなるでしょう。ここは、子どもに喋らせ共感しながら聞くことが大切です。「ほんまか。なるほどなあ。そうやったんか。たいへんやなあ。」などと相槌をうちながら聞くことが大切です。

(裏面へ続く)



PTA 総会 校長挨拶 続き



答えを求められたら「あんたはどうおもうの。あんたはどうしたいの。」というふうにも子どもに考えさせることが大事です。親が決めてしまうと後で責任を転嫁すること考えられます。

大人も子どもも悩みの種類は一緒です。成果、対人関係、環境がほとんどです。学校か会社か家庭かの違いだけです。サラリーマンが仕事の帰りに居酒屋で上司の愚痴を言う。ママ友がお茶会をして夫や家庭の悩みを打ち明ける。これと一緒に人に言ってもどうにもならない、自分で解決するしかないことは自分でもよくわかっているのです。聞いてもらって自分に寄り添ってもらえることを確認して安心しているのです。

当然、いじめなどの問題は早急に動かなければなりません。子どもさんの様子を見ていただき、深刻かそうでないか。緊急かそうでないかを判断していただき、この悩みは聞いてほしいんだなあ判断された場合は聞き役に徹してもらえれば自分で乗り越えていくことでしょう。楽しそうに学校に行っているとは思いますが、やはり学校では緊張が強いられます。安心できる家庭が大切です。

もう一つお願いがあります。それは子どもの前で学校や先生の批判はしないしてほしいということです。何かあったら直接私も管理職でも結構ですし、学年主任など話しやすい相手に連絡してください。必ず校長まで話は届くようにしています。学校を批判すると子どもは学校や先生に不信感を持ちます。そうすると先生の指導が通らなくなります。これは間違いなく悪い影響が出ます。バックアップをよろしくお願いします。

学校ではいろんな時と場合をとらえて、保護者の皆さんや関係者の方々に感謝するよう指導していきます。みんなは一人で大きくなったのではない。成長を一番喜んでいるのは保護者である。生まれた時の喜びは何物にも代えがたいものである。口うるさくいうのもみんなのことを思っていることである。ということを道徳や特別活動、部活動などで重点的に指導していきます。

子どもの幸せな未来を思う気持ちは家庭も学校も同じです。学校と家庭が手を取り合って子どもの成長を支えましょう。よろしくお願いします。



1年生対象に佛教大学 原清治先生から「ネットいじめや依存の怖さについて考えよう」という演題で講演会を行っていただきました。軽妙な語り口調の中にもとても大切なことを教えていただきました。新しいネットいじめや、悪気のない書き込みも見人からすると攻撃の対象になるということを知り、あらためてネットモラル教育の大切さを知りました。



いよいよ本格的にゴールデン・ウィークが始まります。安心・安全で健康的な生活を過ごしてください。特に交通事故には注意するようお話しください。

